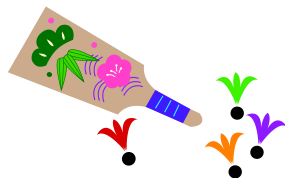




こくたか連携だより



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36

代表(TEL)027-322-5901

地域医療支援・連携センター(TEL)027-322-5835

(FAX)027-322-5925

1月号

(第84号・平成26年発行)

『新年のごあいさつ』



地域医療支援・連携センター長

佐藤 正通

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

旧年中は患者紹介に始まり、地域連携パスに至るまで様々な地域医療連携事業に建設的なご理解、ご参加頂き誠にありがとうございました。お陰様をもちまして、昨年4月に設置されました地域医療支援・連携センターにおきましても順調なスタートを切らせて頂き、医療連携による患者支援、地域医療支援を目指し日々業務に励んでおります。

次ページへ

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(センカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

新年のご挨拶

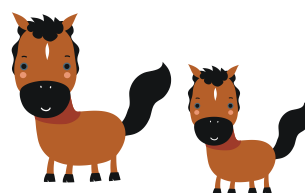
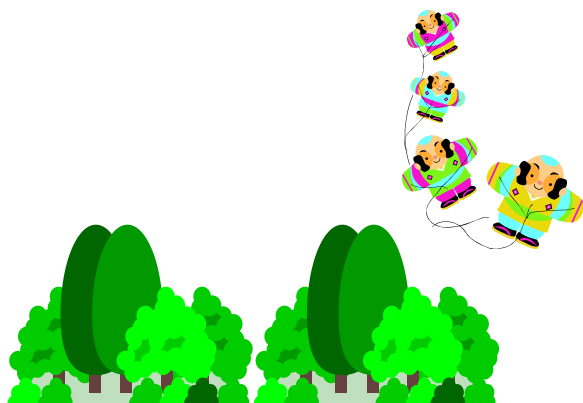


前ページより

連携センターの極めて重要な根拠となる高崎・安中二次医療圏内対象医療機関による高崎・安中地域連携会議、及び実務者会議におきましては、皆様方の地域連携に対する熱意と暖かいご支援により、安定感をもって運営継続が出来るまでに成長してきたように感じております。今年も地域内医療連携の情報共有・情報発信の場として、また医療連携における問題点の抽出や対策協議の場、さらには地域医療新規事業創造の場として機能していく事を強く望んでおります。

また病院として取り組んでおります各専門領域センター化、そして地域連携クリティカルパス運営におきましても、地域内医療機関の連携をもちまして、疾病覚知から疾病診断、治療開始、観察等の診療過程が速やかに、かつ安全に地域内において診療継続できるまでに発展を遂げており、多くの疾病でお悩みになる方々そして家族の方にご利用頂き、実績を挙げている次第でございます。救命救急医療並びに急性期一般医療を地域内の高崎総合医療センターに求められる役割と捉え、当センターをご利用になる住民のそして医療機関からご紹介頂く方々が、迅速に、かつ安全に適切な診療そして患者支援が受けられるよう、これからも院内業務体系の見直しと改変、領域や部門において今現場に求められる医療人としての意識変容、そして必要とされる事業計画を継続して押し進めて参ります。

地域内において医療に携わる全ての方々により構築されるシームレスな診療提供をこれからも、皆様方と共に目指して参ります。またこのような診療形態が真に地域にお住まいの人々に医学医療によってもたらされる安心となりますよう、微力ではございますが、地域医療支援・連携センターは平成26年も邁進をしていく所存でございます。今年もどうぞ宜しくお願い致します。



国際緊急援助隊医療チーム参加報告



診療放射線科技師 三好 貴裕

昨年11月8日に上陸した台風30号(Haiyan)により、フィリピン共和国では死者数6000人以上、被災者数約1600万人という、観測史上類を見ない被害に見舞われました。これを受け日本政府は11月11日に国際緊急援助隊医療チーム1次隊を被害の中心となったレイテ島タクロバン市に派遣して救援活動を開始し、続いて同月18日には2次隊、同じく29日には3次隊を派遣しました。2009年より国際緊急援助隊医療チームに医療調整員(※1)として登録していた私は、第3次隊隊員の募集連絡に合わせ院長ならびに職場長の同意を得て、参加希望の旨を国際緊急援助隊事務局に表明し、第3次隊の一員として緊急援助活動に参加することになりました。

3次隊は、団長以下、医師、看護師、薬剤師、医療調整員、業務調整員からなる24名のチームで、11月29日(金)、成田空港にて結団式を行ったのち空路にてフィリピン共和国へ向けて出発しました(※2)。活動地であるタクロバン市には11月30日に到着し2次隊から引き継ぎを行い、12月1日～10日までの10日間にわたり台風により被災した住民に対し医療活動を行いました。

私たちがタクロバン市に到着したときは、発災から既に20日余りが経過し、発災直後の様な混乱は鎮静されていたものの、そこかしこに台風被害の爪痕が建造物の倒壊やライフラインの破壊などの形で残っていました。タクロバン市内のリサール公園に日本より携行したエアータントを設置し、医薬品やX線検査機器などの資機材を用いて10日間に渡る診療活動と、タクロバン市周辺のバラングイ(現地の行政単位で、日本の「村」に相当)での9日間にわたる巡回診療活動を行いました。急性期が過ぎ慢性期、復興期へと移行していく中での活動となったため、急性呼吸器感染症や高血圧、皮膚疾患など慢性疾患が多く、診療患者数は合計1200人を超えました。X線検査を担当した私は、リサール公園での診療活動の中で96名の患者のX線撮影を行い、その多くは胸部撮影でした。中には長期にわたる咳症状を訴える患者も少なく、数名の患者で結核を疑う所見を呈したため、撮影した画像とともに地域の救急医療施設へ搬送しました。また、医療調整員として参加した私は、X線撮影のほかにも本来の業務である診療活動の補助的な役割も任務として挙げられ、医師、看護師、薬剤師の補助や業務調整員と協力して環境整備等も行いました。これらの業務は日常の放射線業務では体験することができず、他職種との連携を行っていく中で貴重な経験となりました。



つづき



前ページより

今回の派遣を通じて多くの現地の人々の笑顔に出会うことができたことが印象的でした。未曾有の大災害に直面してもそこから立ち上がることを諦めず、笑顔をやささないフィリピンの人々に私たちは援助活動を通じて多くのことを教えていただきました。診察や検査の終了時には「Thank you」や「Salamat Po(フィリピンの現地語であるタガログ語でありがとうの意味)」などと声をかけて頂き、12月のGiving週間(※3)に差し掛かった頃には、ご自身の大切にしていた物やお菓子などを診療テントに持ってきてくださる方もおりました。どのような状況であっても他人を思いやる心の大切さを改めて認識できたことは、私たちがフィリピンの人たちから与えていただいた一番の贈り物です。

日本を離れ、被災地での医療活動という日常とは大きく違った環境での活動を通じて、「被災地復興支援」という枠組みの中での医療について多くのことを学び得ることができました。これらの活動を通じて得た貴重な経験は、今後も災害医療に携わっていく上での大きな財産になるとともに、日常業務においても今回得た経験を活かしていきたいと思えます。

最後に、急な派遣決定にも快く送り出していただいた院長や診療放射線技師長、ならびに勤務調整などで多大なるご協力をいただいた放射線科の皆様、活動を通じて後方支援をしていただいた国際緊急援助隊事務局の皆様、そして私たちの活動を最も身近で支えてくれたフィリピンの人々に深く感謝を申し上げますとともに、フィリピンの一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

※1 医療調整員: 診察を円滑に進めるための医師、看護師、薬剤師を支援する業務を行う。具体例としては、カルテの管理、受付、診療通訳、患者介助、患者の搬送、等。ケースによっては、その専門性を生かした活動が中心になる場合もある(例: 臨床検査、栄養指導、X線検査)。

※2 24名中2名は現地にて合流。

※3 フィリピンの人々にとって、12月は他者への感謝の気持ちを、贈り物で示す月であると、現地人スタッフが教えてくれた。この月は、皆が互いに思い思いのプレゼントをしあうという。素敵な文化だと感じた。



市民健康医学講座報告

結核 ～結核を知って結核を予防しよう～



呼吸器内科部長 茂木 充

【はじめに】日本では2012年の新登録結核患者数は21,283人で、毎日58人が結核を発病していることとなります。日本の結核罹患率(人口10万対 年間患者発生数)は年々減少傾向にはありますが、現在16.7(2012年)で、米国の3.4の約5倍です。

【日本の結核の現状と特徴】①高齡化: 70歳以上が56%を占め、結核患者の高年齢偏在は日本の結核の大きな特徴です。②受診の遅れ: 咳が出現してから受診までに数か月を要することがあり、特に働き盛りで排菌している患者の受診の遅れが目立ちます。職場等で集団感染を引き起こす恐れがあります。③医学的リスク集団への集中: 糖尿病、腎不全、塵肺、癌、HIV感染、免疫抑制薬治療中などの患者が増加し、医療の管理下にありながら、時に発見が遅れ重症化することがあります。④重症患者の増加: 約5%が1年以内に結核で死亡。高齡化、基礎疾患、発見の遅れと関連しています。⑤集団感染の多発: 事業所、医療機関、福祉施設、学校などが目立ちます。その他、カラオケ、ネットカフェなどからも発生しています。⑥薬剤耐性結核: 主要な薬が効かない多剤耐性結核が0.5%にみられます。不適切な治療が行われるとさらに耐性化が進みます。

【結核菌の特徴と結核の感染・発病】結核菌は長さ2～5 μ mの棒状の菌ですが、酸やアルカリ、乾燥に強い菌です。生体内では貪食細胞の中で増殖する細胞内寄生菌で、増殖はゆっくりです。排菌者が密室で咳をすると、飛沫(しぶき)中の結核菌が数 μ mの浮遊粒子(飛沫核)となって空中を漂い、同室者に吸い込まれます。吸い込まれた菌の多くは上気道の線毛の働きで除去されますが、一部の菌は排除を免れて肺胞まで到達し、貪食細胞に貪食され、その後感染が成立します。感染だけでは症状はなく伝染性はありません。発病とは、感染後、結核菌が免疫力に打ち勝って体内で増殖し病巣を作り咳や発熱などの症状が出た状態です。伝染する危険が高いのは、肺結核や喉頭結核で、痰に結核菌が含まれている場合で、特にレントゲン写真で肺に空洞を認めたら注意が必要です。結核は感染後すぐに発病するわけではありません。感染後約2か月で結核に特異的な免疫ができ、ツベルクリン反応が陽性になります。感染者の8割以上的人是は発病せず、結核免疫を獲得し再感染を受けにくくなります。感染者で結核を発病するのは一生の間に10～20%です。発病時期で一次結核と二次結核に分けます。一次結核は感染後6ヵ月～2年以内に発病するもので若年者に多く、菌の増殖力に比べ結核免疫が弱いため菌の増殖を抑えられず初感染後そのまま発病するものです。二次結核は高齡者に多く、感染後5～20年以上経ってから体内の残存菌が個体の抵抗力の低下に伴って活性化し発病するものです。

次ページへ



市民健康医学講座報告



前ページより

【結核の感染と発病に関する危険因子】①感染の広がりやすい環境:換気の悪い場所、カラオケ、ネットカフェなど ②体質:やせ型 ③生活習慣:睡眠不足、栄養不足、過労、劣悪な生活環境 ④免疫力の低下する疾患・病態:HIV感染、糖尿病、肝硬変、血液透析など ⑤免疫を抑制する薬剤:ステロイド薬、TNF α 阻害薬、抗癌薬など

【結核の検査の進め方】①まず結核を疑うこと ②咳が2週間以上続く時は肺結核も考え、胸部X-Pや胸部CTを撮影 ③症状と画像所見から肺結核が疑われれば喀痰検査3回 ④菌陽性なら核酸増幅法で結核菌と診断

【結核の感染診断】これまでツベルクリン反応で判定していましたが、最近、インターフェロン γ 放出試験が開発されました。結核菌に特異的な抗原でリンパ球を刺激して産生されるインターフェロン γ 量を測定することで、結核に特異的な免疫を持っているかどうか判定できます。インターフェロン γ 放出試験にはクオンティフェロンとT-スポットがあり、陽性の場合には結核感染(発病ではありません)を強く示唆します。結核感染を正確に診断することで、結核発病ハイリスク者からの発症を予防することができます。

【結核治療】治療の目標は耐性菌の出現を抑え、体内に潜む分裂静止菌・持続生存菌をも根絶すること。そのため作用機序の異なる薬3~4剤で治療を開始し、最短でも6か月の長期治療を行います。不規則な内服と治療の中断で薬剤耐性菌が発生することを十分に説明し、治療からの脱落を防ぎます。痰から菌が出ている間は入院治療が必要です。

【結核の発病予防】発病予防には日頃から免疫力を高める生活をするのが重要です。以下のことに心がけましょう。①栄養バランスのとれた食事:偏食、無茶なダイエット、インスタント食品に偏った食事などを改善する ②過労を避け、十分な睡眠をとり、規則正しい生活をする ④適度な運動、体力増進 ⑤禁煙 ⑥アルコールの飲みすぎに注意 ⑦糖尿病など持病の適切な治療

【おわりに】結核は過去の病気ではありません。日本では今でも4人に1人が結核に感染している可能性があります。でも、結核は正しい治療をすれば治る病気です。2週間以上咳が続くときは結核を疑ってみてください。定期検診や早めの受診が、あなたとあなたの大切な人を守ります。



がん患者さんやそのご家族の集いです

ほっとサロン・たかさき



お茶を飲みながら
病気のことや日々の生活のことなど
お話しませんか？

当日は、高崎総合医療センター相談支援センター
の看護師やソーシャルワーカーも参加いたします。

当センターでは、がん
サロンを毎月1回開催し
ております。

がん患者さんやその
ご家族に、ご自由に参加
して頂いております。

事前の申し込みは必要
ありません。

とき：平成25年	4月26日（金）	5月24日（金）
	6月28日（金）	7月26日（金）
	8月23日（金）	9月27日（金）
	10月25日（金）	11月22日（金）
	12月20日（金）	
平成26年	1月24日（金）	2月28日（金）
	3月28日（金）	

毎回 13時 30分～15時 30分

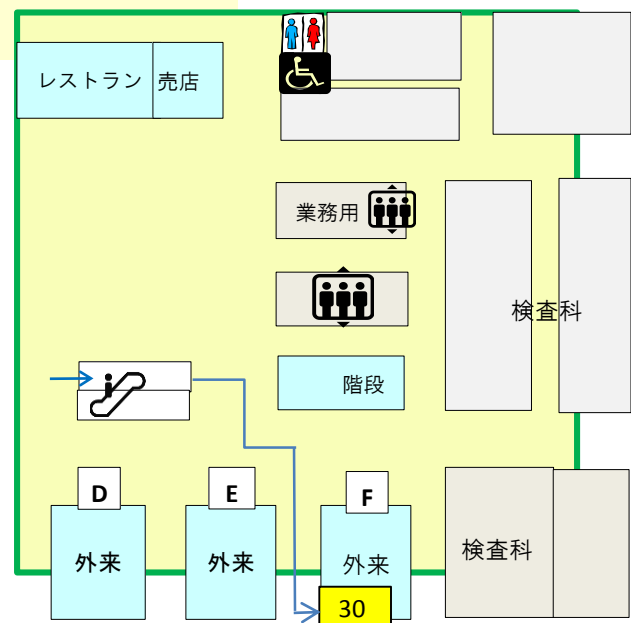
ところ：※開催場所が、下記に変更となりました。

高崎総合医療センター2階,Fブース30番の診察室。

皆さまのご参加を
お待ちしております。

●当院へ駐車の場合、駐車料金（4時間まで200円）がかかります。
ご了承下さい。サロンについてのお問い合わせは、高崎総合医療センター
癌相談支援センターまでお願い致します。
電話：027-322-5901(病院代表)

2階ほっとサロン案内図



医療機器共同利用のご案内

～医療機器共同利用について～

当センターで保有しています医療機器を、地域の医療機関の先生方にもご利用いただき、患者さんの診療および治療に役立てていただくため、医療機器の共同利用を行っています。

このシステムのご利用にあたり、手続きが必要です。手続きに関するお問い合わせは、地域医療支援・連携センターまでご連絡ください。

＜お問い合わせ＞

地域医療支援・連携センター
(平日 8:30～17:00の間)

直通電話 027-322-5835
直通FAX 027-322-5925

○検査項目一覧

CT	通常撮影の他に		
	・CTAngio	脳血管	
		胸部大動脈	
		腹部大動脈	
・CTコロノグラフィ	下肢血管		
・Dual Source CT	大腸		
MRI	通常撮影の他に		
	・MR Angio	脳血管	
		冠動脈	
	・MRトラクトグラフィ		
	・MR VSRAD		
	・MRS		
・MRCP			
核医学検査	・頭部	脳血流シンチ	IMP
			ECD
		神経受容体	ベンゾダイン
	・頭頸部	唾液腺シンチ	TcO ₄ ⁻
	・甲状腺	ヨード摂取率	
		副甲状腺	MIBI
	・肺	換気	Kr
		血流	MAA
	・心臓	安静心筋	Tc・MIBG
		薬物負荷心筋	Tc
		心筋脂肪酸代謝	2核種
	・腹部	副腎皮質	アドステロール
		副腎髄質	I-123MIBG
腎臓			
・全身	骨		
	ガリウム		

※ 核医学の検査項目は実施できる曜日が限られております。キャンセルが出来ません。

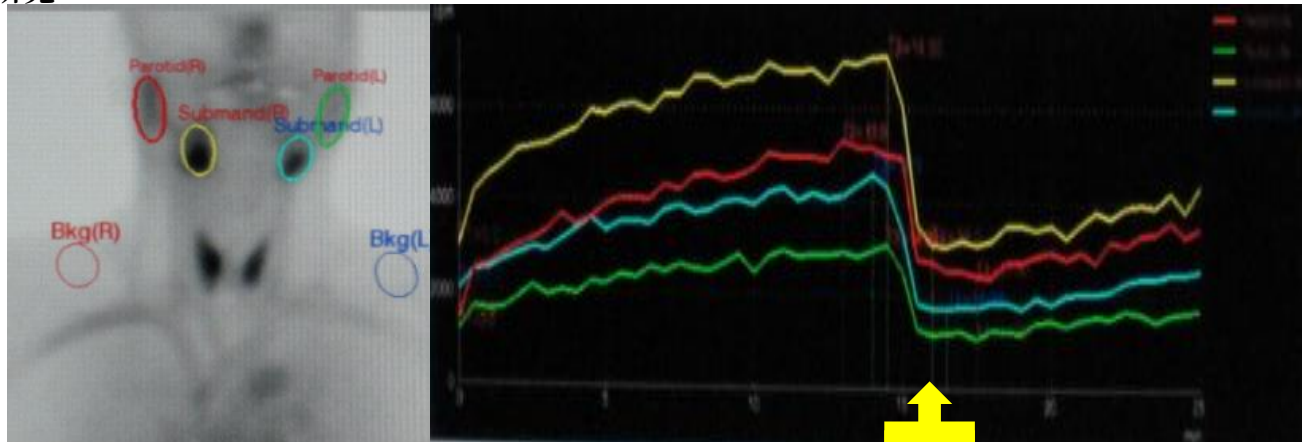
事前準備が必要な場合がございますので、予約の際に当センター放射線技師が対応いたします。

唾液腺シンチ (唾液腺腫瘍、唾液腺炎、シェーグレン症候群など)

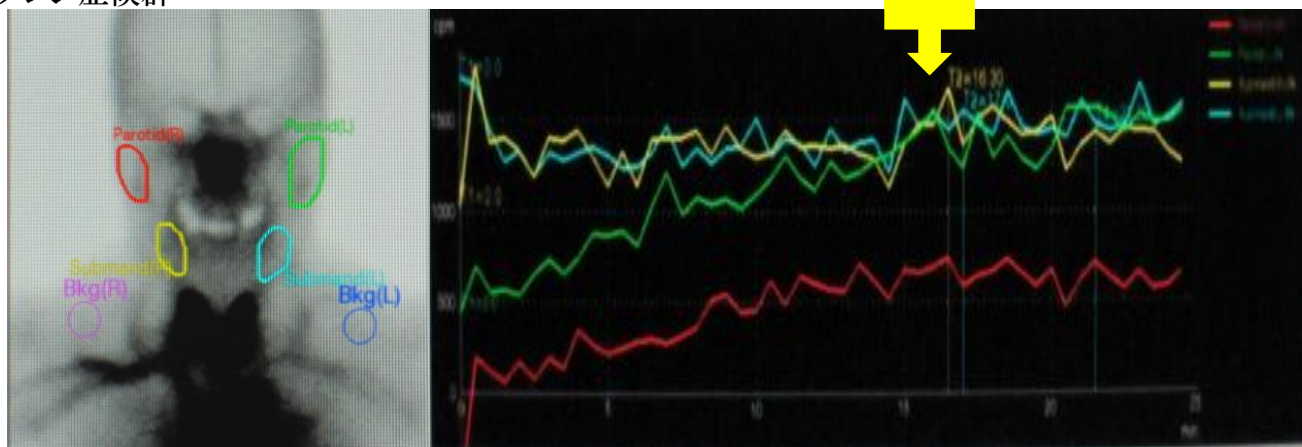
$^{99m}\text{TcO}_4^-$ のRI薬品を使用して、耳下腺、顎下腺の機能を評価できます。この検査では、唾液の生成及び排泄の機能がわかります。また、グラフにより集積・排泄がわかりやすく表示できます。

前処置：検査直前の飲水

正常所見



シェーグレン症候群



臨床評価方法

腫瘍性病変及びシェーグレン症候群が主な適応疾患

腫瘍性病変では集積の有無と排泄反応の程度により唾液腺由来なのかその周囲組織なのかが判別可能となる。

シェーグレン症候群では集積及び排泄反応共に鈍いとされる。

同様に反応性が悪い疾患として、唾液腺炎やサルコイドーシス、放射線照射後の障害などがある。

検査の流れ



検査時間は約1時間で終了。

その後データ (写真) を引き渡し、費用は3割負担で約1万円となります。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

◆◇対象患者さん◆◇

- ・現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- ・現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- ・原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- ・相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

◆◇実施診療科◆◇ 【各科の専門医が対応いたします】

内科・神経内科・精神科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・小児科
外科・乳腺、内分泌外科・整形外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科
皮膚科・産婦人科・泌尿器科・眼科・放射線診断科・放射線治療科・歯科口腔外科

◆◇予約方法◆◇

*完全予約制です

受付時間 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※ 精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄となります

事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させていただきます

代表 027-322-5901 にお電話頂きセカンドオピニオン係とお申し付け下さい

◆◇セカンドオピニオン外来時間◆◇

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整
(診療科によって曜日は異なります)

◆◇費用◆◇

30分 5,250円(税込)とし、1回 10,500円が上限となります

セカンドオピニオン外来担当表

セカンドオピニオン外来 医師別対応表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火曜日
精神科	井田 逸朗	メンタルヘルス	木曜日
神経内科	石黒 幸司	神経内科学、神経内科一般、水頭症の診断と治療	金曜日
呼吸器科	茂木 充	呼吸器全般	金曜日
	清水 雄至	呼吸器全般、アレルギー疾患(眼・鼻・皮膚・眼除く)	火曜日、金曜日
消化器科	高木 均	肝臓、胆、膵臓	火曜日、水曜日
	工藤 智洋	食道、胃、大腸	火曜日、木曜日
	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	木曜日
循環器科	佐々木 豊志	冠動脈インターベンションの適応、バイパス手術の適応、浸襲的治療の可否、循環器全般	金曜日
	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療(カテーテル治療)	金曜日
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水曜日
外科	小川 哲史	消化器外科全般、特に悪性腫瘍の手術	木曜日
	饗場 正明	消化器外科全般	水曜日
	坂元 一郎	消化器外科全般	水曜日
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳癌全般・甲状腺外科	月曜日、火曜日、水曜日
整形外科	新井 厚	脊椎・脊髄疾患、整形外科全般	月曜日
脳神経外科	栗原 秀行	脳・脊髄腫瘍、脳神経外科全般	火曜日
	笹口 修男	脳血管障害	木曜日
呼吸器外科	菅野 雅之	肺癌、縦隔腫瘍、呼吸器外科全般	木曜日
心臓血管外科	坂田 一宏	心臓血管外科全般(小児などの先天性疾患は除く)	木曜日
皮膚科	龍崎 圭一郎	皮膚外科、皮膚腫瘍	火曜日
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍、緩和ケア	火曜日、金曜日
眼科	土屋 明	眼科全般(眼腫瘍を除く)	水曜日、木曜日、金曜日
画像診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木曜日
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火曜日
放射線治療科	北本 佳住	悪性疾患の放射線治療	金曜日
歯科口腔外科	高崎 義人	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月曜日、水曜日、木曜日

医師 紹介コーナー



当センターの医師を紹介します



放射線治療科 永島 潤 (えいしま じゅん)

放射線治療科の永島潤(えいしま じゅん)と申します。苗字は「ながしま」ではなく、「えいしま」と読みます。悪性疾患(がん)の放射線治療を担当しています。

超高齢化社会となり、2人に1人ががんになり、3人に1人はがんで亡くなる時代となりました。以前と比較して、医療関連の話題に接する機会が多くなり、がんの話題も昔ほどタブーではなくなってきたように感じます。患者さんの知識が増えてきていると思う反面、正しく伝わっていないと感じることもあります。放射線治療科はほぼ全身の悪性疾患の治療に携わっており、専門家として患者本位の診療を心がけています。がんの治療で何かお役にたてることがあればご相談ください。よろしくお願いいたします。



小児科 橋本 真理 (はしもと まり)

はじめまして。平成25年4月から当院小児科で勤務をしています橋本真理と申します。私は埼玉県深谷市で生まれ育ちました。子供が好きでずっと保育士になろうと思っていましたが、ふとしたきっかけで小児科医の道を志しました。熊谷女子高校から山梨大学に進学し、卒後山梨県で初期研修を行いました。今年度より地元に近い群馬大学小児科医局へ入局し、こちらの病院で勤務することになりました。

毎日、子供たちの純粋さに触れながら仕事をしていると、こちら心も洗われるような気持ちになります。未熟ではありますが、皆様のお力をお借りしながらひとりひとりの患者さんを大切に丁寧に診療していきたいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

登録医 ご紹介コーナー

● 当センターの登録医の先生をご紹介します。

岡本内科クリニック



岡本 克実 院長

【院 長】岡本 克実

【所在地】高崎市上中居町365-2

【電 話】027-325-5050

【診療科】内科・循環器科

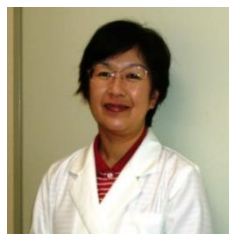
“質の高い医療をわかりやすく”

糖尿病、高脂血症、高血圧症などの生活習慣病は、患者様自身による自己管理が大切ですが、それを手助けする十分な経験と知識を持った医師及び看護師、栄養士、薬剤師などによるアドバイザーの存在がなくてはなりません。

当院では、今まで大病院でしか望めなかった健康管理を身近なクリニックで実現し、また地域の基幹病院との連携により合併症の克服にも取り組んでいます。

月曜日から金曜日まで朝9時から夜6時30分までの診療を行っていますので、患者様のライフスタイルに合わせて無理なく通院することが出来ます。電話での診療予約も可能ですし、電子カルテを使用していますので、待ち時間も短縮されます。

吉村内科医院



茂木 章子 院長

【院 長】茂木 章子

【所在地】高崎市相生町5

【電 話】027-322-2226

【診療科】内科・漢方診療

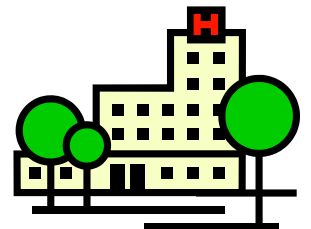
吉村医院は女性医師の診療所として、皆様の健康増進のお役に立てるよう取り組んでおります。今後も地域の病院との連携をはかって、よりよい診療を目指しております。

一般内科の診療とともに、漢方薬による女性のための内科に力を入れています。高崎市の健診や超音波検査、内視鏡検査にも積極的に取り組み、又皆様の声に耳をかたむける努力を続けていきたいと思っております。

高崎総合医療センター 外来診療担当表

(平成26年1月1日現在)

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正 通	合 田 史	合 田 史 午前:一般 午後:予約専門外来	佐藤 正 通	佐藤 正 通
	渡 邊 俊 樹	渡 邊 俊 樹	(大 高 行 博)	渡 邊 俊 樹	(川 田 悦 夫)
	相 馬 宏 光	相 馬 宏 光			
内分泌代謝外来		(石 井 角 保) 午後	(道 又 敏 夫)	(大 井 晋 介) (安 部 純) 午後:糖尿病	
リウマチ外来	井 上 誠				井 上 誠
神 経 内 科	金 井 光 康	石 黒 幸 司	交 替 (再診のみ)	金 井 光 康	(櫻 井 篤 志)
	(櫻 井 篤 志) 午後のみ:紹介・予約				
呼 吸 器 内 科	茂 木 充	茂 木 充 予約のみ	清 水 雄 至	茂 木 充	清 水 雄 至
	相 澤 智 弘		原 田 直 之	原 田 直 之	相 澤 智 弘
消 化 器 内 科	高 木 均	高 木 均	宮 前 直 美	工 藤 智 洋	高 木 均
	長 沼 篤	星 野 崇	林 絵 理	長 沼 篤	工 藤 智 洋
	林 絵 理 新患のみ	小 柏 剛	上 原 早 苗	小 柏 剛	星 野 崇
	(蘇 原 直 人) 午後		石 原 弘 午後		
内視鏡検査	星野 / 上原	工 藤 智 洋	相 馬 / 小 柏	高 木 / 宮 前	長 沼 / 林
循 環 器 内 科 (ペースメーカー外来)	佐々木 豊志	福 田 延 昭	佐々木 豊志	佐々木 豊志	柳 澤 三 朗
	齋 藤 章 宏	岩 瀬 晴 香	広 井 知 歳	静 毅 人	小 林 紘 生
	小 林 洋 明	(金 澤 紀 雄) 再来のみ	静 毅 人	福 田 延 昭	(本 多 忠 暁)
	静 毅 人 新患のみ			齋 藤 章 宏	
				(金 澤 紀 雄) 再来のみ	
精 神 科	井 田 逸 朗	井 田 逸 朗	井 田 逸 朗	井 田 逸 朗	井 田 逸 朗
	須 藤 哲	須 藤 哲	須 藤 哲		須 藤 哲
小 児 科	奥野 はるな	宮 川 陽 一	神 尾 綾 乃 乳児検診:一般	宮 川 陽 一	佐藤 幸一郎
	五十嵐 恒雄 午前のみ:紹介・予約	佐藤 幸一郎	五十嵐 恒雄 午前のみ:紹介・予約	奥野 はるな	小 林 美 帆 午前のみ:紹介・予約
	橋 本 真 理 午前のみ:紹介・予約	五十嵐 恒雄 午後のみ:紹介・予約	奥野 はるな 午後のみ:紹介・予約	佐藤 幸一郎 午後のみ:紹介・予約	五十嵐 恒雄 午後のみ:紹介・予約
	佐藤 幸一郎 午後のみ:紹介・予約	神 尾 綾 乃 午後のみ:紹介・予約			宮 川 陽 一 午後のみ:紹介・予約
外 科	坂 元 一 郎 [消化器]	<手 術 日>	饗 場 正 明 [消化器]	小 川 哲 史	清 水 尚
	宮 前 洋 平			茂 木 陽 子	戸 谷 裕 之
ス टीम 外来			第2・4週目午後のみ:予約	第1・3・5週目午後のみ:予約	
泌 尿 器 科	(牧 野 武 雄)	(高 橋 悟)	(松 井 強)	(牧 野 武 雄)	(牧 野 武 雄)
緩和医療科	田 中 俊 行		田 中 俊 行	田 中 俊 行	田 中 俊 行



当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

高崎総合医療センター 外来診療担当表

(平成26年1月1日現在)

	月	火	水	木	金
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生 <small>〔乳腺・甲状腺〕</small>	鯉淵 幸生 <small>〔乳腺・甲状腺〕</small>	鯉淵 幸生 <small>〔乳腺・甲状腺〕</small>	(高他大輔) <small>隔週</small>	鯉淵 幸生 <small>第2・4週目</small>
		小田原 宏樹	小田原 宏樹		小田原 宏樹 <small>第1・3・5週目</small>
					常田 祐子
心臓血管外科	<手術日>		山岸 敏治	坂田 一宏	
呼吸器外科		渥 實 潤	<手術日>	菅野 雅之	
整形外科	新井 厚	<毎週交替>	新井 厚	<手術日>	大澤 敏久
	荒 毅	(須藤 執道)	大澤 敏久		園田 裕之
	園田 裕之	(柳澤 信明) <small>午後</small>	荒 毅		
形成外科	<手術日> <small>(午前)</small>	内田 悦弘	<手術日> <small>(午前)</small>	内田 悦弘	
脳神経外科	吉田 貴明	栗原 秀行	<手術日>	笹口 修男	大谷 敏幸
皮膚科	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎 <small>〔学歴外来〕 午後予約</small>	<手術日>	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎
	岡田 悦子	岡田 悦子		岡田 悦子	岡田 悦子
産婦人科	伊藤 郁朗	伊藤 郁朗	矢崎 聡	片貝 栄樹	伊藤 郁朗
	片貝 栄樹	片貝 栄樹	(木暮 圭子) <small><産後相談></small>	多胡 佳織	青木 宏
	矢崎 聡	青木 宏		(金井 眞理)	多胡 佳織
眼科	土屋 明	土屋 明	土屋 明	土屋 明	土屋 明
放射線治療科	北本 佳住	北本 佳住		北本 佳住	北本 佳住
	永島 潤 <small>紹介・予約</small>	永島 潤 <small>紹介・予約</small>		永島 潤 <small>紹介・予約</small>	永島 潤 <small>紹介・予約</small>
歯科口腔外科	高崎 義人 <small>紹介・予約</small>	<手術日>	高崎 義人 <small>紹介・予約</small>	高崎 義人 <small>紹介・予約</small>	高崎 義人 <small>紹介・予約</small>
	稲川 元明 <small>紹介・予約</small>		稲川 元明 <small>紹介・予約</small>	稲川 元明 <small>紹介・予約</small>	稲川 元明 <small>紹介・予約</small>
	片山 雅文 <small>紹介・予約</small>		片山 雅文 <small>紹介・予約</small>	片山 雅文 <small>紹介・予約</small>	片山 雅文 <small>紹介・予約</small>
	萩原 僚一 <small>紹介・予約</small>		萩原 僚一 <small>紹介・予約</small>	萩原 僚一 <small>紹介・予約</small>	萩原 僚一 <small>紹介・予約</small>
	引田 正宣 <small>紹介・予約</small>		引田 正宣 <small>紹介・予約</small>	引田 正宣 <small>紹介・予約</small>	引田 正宣 <small>紹介・予約</small>
摂食・嚥下、口腔 ケア外来				稲川 元明 <small>紹介・予約</small>	
				(佐藤 光保) <small>紹介・予約</small>	

- (注) 1. 受付時間は08:30~11:00迄となっております。予約の場合は、最終予約時間迄となっております。なお、再来受付機は08:15から受付しております。
 2. 精神科の初診の患者さんは完全予約制となります。精神科外来までご連絡をいただき、来院日のご予約をお願いいたします。
 3. 土、日、祝日、年末年始は休診です。
 4. 紹介状のお持ちの方、紹介事前予約の方は、地域医療連携室で受け付けております。
 5. 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。
 6. 待ち時間を少なくするため予約診療をお勧めします。診療予約は、各科外来で医師にご相談ください。
 7. ()の医師は非常勤です。

当センターへ紹介の際は、地域医療支援・連携センターを通じた事前予約にご協力下さい。

行事などのお知らせ ～当センターで実施する行事等～

【市民健康医学講座】

『画像診断検査について』

講師：放射線画像診断科医長 佐藤 洋一

日時：平成26年2月19日(水)
18時～

場所：当センター2階 大会議室

対象：一般の方、医療従事者



【Cancer Board】

『抗がん剤投与時にみられる
眼合併症とその対策』

日時：平成26年2月7日(金)
18時～

場所：当センター2階 大会議室

対象：医療従事者



【がん診療連携拠点病院講演会】

『“エンド・オブ・ライフ・ケア”を考える』

日時：平成26年1月30日(木) 18:30～20:00

場所：当センター2階 大会議室

対象：医療従事者



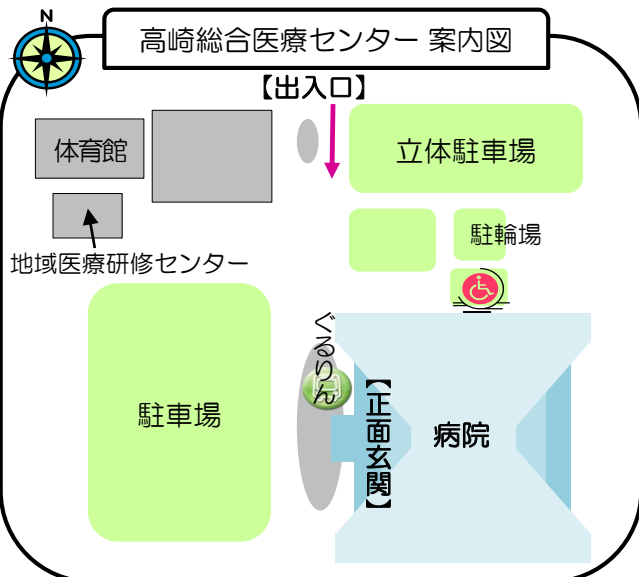
【在宅・施設で胃ろうカテーテル交換を行います】

ぐんま栄養療法ネットワーク・高崎では、自宅で療養している患者や介護施設などに入所している患者に訪問して胃ろう交換を行います。ご希望の方は主治医にご相談の上、下記までご連絡下さい。

訪問日：毎月第3火曜日 午後（事前予約制）

連絡先：高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

直通電話：027-322-5835(8:30～17:00)



●●● バックナンバー ●●●

当センターのホームページより広報紙バックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.tnho.jp/koho/index.html>

■■■ 編集室より ■■■

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 027-322-5835

(地域医療支援・連携センター直通)